

トリアルコース用データの作り方

DTP に慣れている方向けのサービスのため、各々で以下の追加作業が必要です。

①

下地用のデータ作り

白い塗装面に貼りたい場合は不要ですが、有彩色を発色させたい場合は下地用の白を印刷するためのパスデータの作成が必要です。

下地白印刷用レイヤーに作成してください

白として印刷したい図形などは、カラーレイヤーに配置します。

①-2

下地の白のオフセット (-0.05mm ラウンド) をかけること

→オフセットをしていない場合、下地の白がはみ出てみまます
メタリックシルバーを使う場合は、-0.1 mm 必要です。

②

規定サイズの 3mm 内側に収めること

申し込んだ A4 ないしは A5 サイズの 3mm 内側に収めること



左の柄（マゼンダ 100%）を印刷したい場合、模様よりマイナス方向にオフセットさせた白のレイヤーを下地白印刷レイヤーに作る必要があります。



白で印刷したい場合はスウォッチのホワイトを指定してください。
下地白印刷用レイヤーではなく、カラーレイヤーに作成します。



左のように Photoshop などで作った画像（600-1400dpi）を使いたい場合。
JPG でも eps でも可能ですが、下に白を入れたい場合は入れたい場所に応じたパスが必要です。
RGB モードで入稿する場合は、画像も RGB のままでかまいません。

A5 サイズ参考 ガイド線の内側に描画



A4 サイズ参考 ガイド線の内側に描画

